

計画項目番号	27	計画担当部課	市民福祉部 健康生きがい課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	市民福祉部 健康生きがい課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	市民福祉部 健康生きがい課			
計画項目名	医療費の抑制（健康寿命の延伸）					
現状と課題 （取組の必要性） 取組項目の概要 （具体的手法）	<p>高齢者の増加により国民医療費が年々増加している。平成20年度から、飛騨市は、飛騨市国民健康保険の医療保険者として40歳から74歳までの被保険者を対象に特定健診を実施している。また、40歳以上の市民を対象にがん検診（子宮がん検診は20歳以上）を実施している。特定健診の受診率は高く、市民の健康への関心は高いが、飲酒の機会が多い等の習慣もあり、受診率の高さが生活習慣病の予防につながっているとは言い難い面もある。</p> <p>このため、健康についての啓発や健診・検診後の保健指導を充実することで、市民の健康意識を改善し、市民自らが生活習慣病を予防する飛騨市を目指す。その結果、健康寿命の延伸が図られ、医療費の増高率の抑制が期待できる。（医療費ベースでの比較は様々な要因が加味される。）</p> <p>また、平成26年度から国民健康保険のレセプトデータと健診データがリンクされ、平成25年度分の実績による疾病分析、課題設定が可能となったため、この国保データベースを活用し、国保データヘルス計画を策定し市民の健康指標の設定に活用する。</p>					
取組による効果 （具体的目標）	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸、医療費の増高率の抑制 予防に重点を置きたい疾病等を設定し、医療費等の伸び率を觀察する。【メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、がん】 <p>指標1 一人当たり医療費（医科+調剤）の飛騨市と県平均の差を減少させる。【高齢者が増えると医療費が増加する】</p> <p>指標2 国保データベースで算定される健康寿命を延伸を図る。</p>					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	平成26年度中に国民健康保険第1期データヘルス計画を策定する。計画期間：平成26年度～29年度 国保データベースで見える化された指標を活用して、予防事業に取り組む。平成25年度の指標を基準として、平成26年度以降の指標との比較を行い、最終目標は、1人当たり医療費の削減とする。	国保データベースで見える化された指標を活用して、予防事業に取り組む。	国保データベースで見える化された指標を活用して、予防事業に取り組む。	平成29年度中に国民健康保険第2期データヘルス計画を策定する。計画期間：平成30年度～32年度	国保データベースで見える化された指標を活用して、予防事業に取り組む。
	目標	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比 108.5% 健康寿命 男 65.3 女67.2	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比 108.0% 健康寿命 男 65.5 女67.4	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比 107.5% 健康寿命 男 65.7 女67.6	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比 107.0% 健康寿命 男 65.9 女67.8	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比 106.5% 健康寿命 男 66.1 女68.0
	目標の説明 （数値目標の場合は根拠）	岐阜県国保1人当たり医療費と飛騨市国保1人当たり医療費との比較 平成20年度～25年度の平均値 108.58% 当市が県より8.58%高い 平成25年度健康寿命 男65.1 女67.0	前年度目標に対して0.5%の減 健康寿命:0.2歳の伸	前年度目標に対して0.5%の減 健康寿命:0.2歳の伸	前年度目標に対して0.5%の減 健康寿命:0.2歳の伸	前年度目標に対して0.5%の減 健康寿命:0.2歳の伸
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 （数値結果の場合は根拠）					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 （特記事項）						